2025年12月期 第1四半期 決算説明会資料

株式会社電通総研
2025年4月30日

大金です。

本日はお忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

目次
INDEX

01 2025年12月期 第1四半期決算概況

02 2025年12月期 業績予想

Appendix

＊1 2025年12月期より、報告セグメント配下の事業区分を変更しました。これに伴い、報告セグメントの2024年12月期実績についても、変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。

＊2 2023年12月期第3四半期以降の受注高、受注残高について集計の誤りが判明したため、修正内容について本日付で適時開示を公表しております。資料内の数値についてはすべて修正後の数値を記載しております。

まずはじめに、２点、お伝えしたいことがあります。

1点目は、セグメントの組み替えについてです。

前回の決算で発表したとおり、今期から、セグメントの組み替えを行っております。セグメントの前期情報については、組み替え後の数値を記載しておりますので、昨年発表した数値と違っていることに留意ください。
また、今回の第1四半期だけではなく、年間を通した組み替え数値も、最後のAppendixに記載していますので参考にしてください。

2点目は、受注高、受注残高の修正についてです。

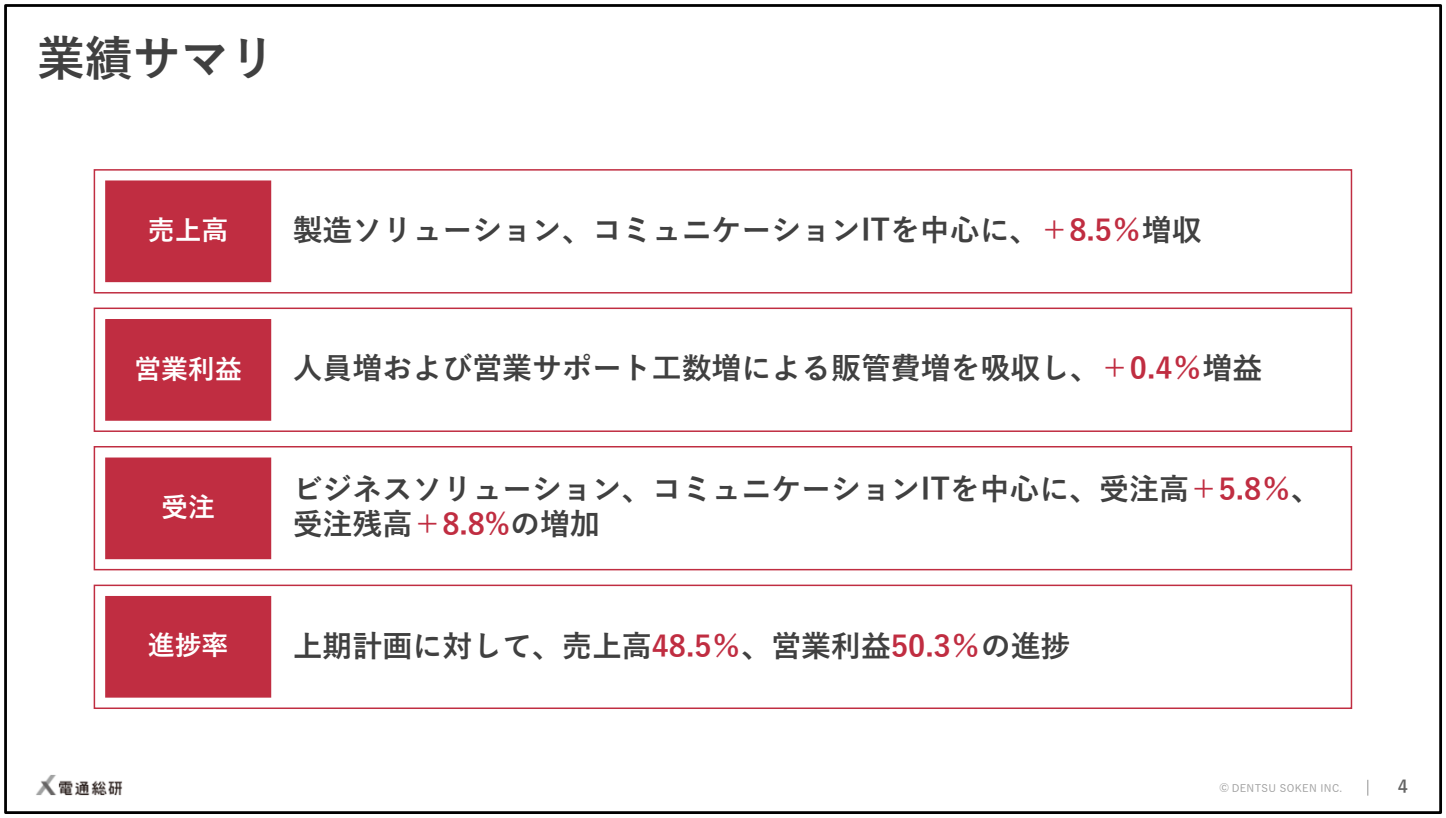
今回の決算作業において、2023年12月期第3四半期以降の受注高、受注残高について、誤りがあったことが判明しましたので、本日別途、開示を行っております。
修正規模は、年間で約5億円、累計で約10億円です。

今回の決算説明資料については、すべて修正後の数値を記載しておりますので、ご了承ください。

目次
INDEX

01 2025年12月期 第1四半期決算概況
02 2025年12月期 業績予想
Appendix

それでは、決算概況からご説明いたします。



第１四半期の業績サマリです。

売上高は、製造ソリューションとコミュニケーションITを中心に、前年同期比8.5%の増収となりました。

営業利益については、人件費を中心とする販管費増を、増収効果で吸収し、僅かではありますが増益を確保しました。

受注は、受注高が前年同期比5.8%、受注残高は前年同期比8.8%の増加となりました。ビジネスソリューション、コミュニケーションITに力強さが戻ってきております。

上期計画に対する進捗は、売上高が48.5%、営業利益が50.3%となっています。

連結業績

（単位：百万円）

	2025年12月期 第1四半期累計	前年同期比			上期に対する進捗率＊(%)	
		前年同期	増減	増減率(%)	2025年12月期 第1四半期累計	前年同期
売上高	40,244	37,099	＋3,145	＋8.5	48.5	50.0
売上総利益	14,397	13,566	＋831	＋6.1	-	-
売上総利益率(%)	35.8	36.6	▲0.8p	-	-	-
販売費及び一般管理費	8,618	7,809	＋809	＋10.4	-	-
営業利益	5,779	5,757	＋22	＋0.4	50.3	55.6
営業利益率(%)	14.4	15.5	▲1.1p	-	-	-
経常利益	5,995	5,734	＋261	＋4.5	52.1	55.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,109	4,118	▲9	▲0.2	51.4	56.8
就業人員数(四半期末)	4,389名	3,683名	＋706名	＋19.2		

＊ 2025年12月期第1四半期累計は2月12日発表予想に対する進捗、前年同期は最終実績に対する進捗

電通総研

© DENTSU SOKEN INC. | 5

あらためて、連結のPLです。

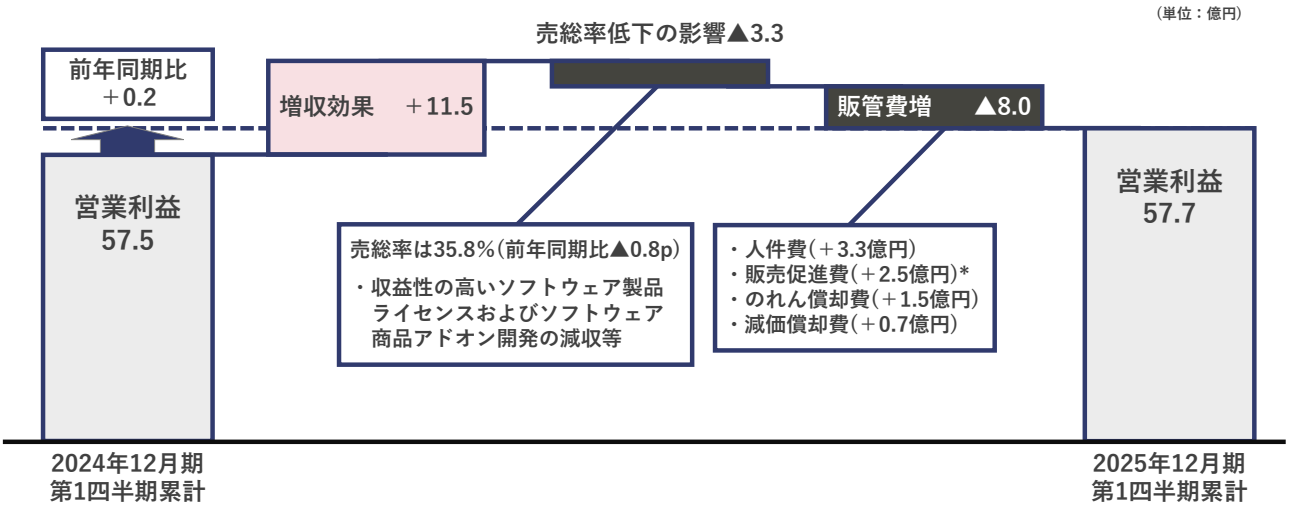
売上高は402億円、営業利益は57億円となりました。
営業利益の増減要因については、次のページでご説明いたします。

一番下、就業人員数については、M&A効果含め、前年同期比でプラス19.2％と
大幅な増加となりました。今後の成長に向けて積極的な採用を継続しております。

右側に記載しているのが上期計画に対する進捗です。
売上、利益ともに前年実績より若干弱い状況です。

営業利益の増減要因【前年同期比】

- 売総率低下の影響に加え、販売費及び一般管理費の増加があったものの、増収効果により営業利益は増益
- 売総率は、収益性の高いソフトウェア製品ライセンスおよびソフトウェア商品アドオン開発の減収等により低下



＊ 販売促進費は主に新規案件獲得に向けた技術者の営業サポートや提案活動にかかる人件費

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

営業利益の増減要因です。

一番左、前期の営業利益57億5千万円に対し、一番右、当期は57億7千万円と、2千万円の増益となりました。

その増減の内訳は、増収効果で11.5億円のプラス、売上総利益率低下の影響で3.3億円のマイナス、販管費増の影響で8億円のマイナスです。

売上総利益率は35.8%、前年同期比で0.8pt低下しました。
収益性の高いサービスであるソフト製品のライセンスと、ソフト商品のアドオン開発が前年同期に比べ減少したことが影響しています。

販管費の増加は、人員数の拡大に伴う人件費、営業活動強化に伴う販売促進費、M&Aに伴うのれん償却費、などの増加によるものです。

営業外損益・特別損益

- 前年同期に投資有価証券売却益を特別利益に計上した影響等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益

（単位：百万円）

	2025年12月期 第1四半期累計	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
営業利益	5,779	5,757	＋22	＋0.4
営業外収益	224	73	＋151	＋206.8
営業外費用	9	96	▲87	▲90.6
経常利益	5,995	5,734	＋261	＋4.5
特別利益	-	265	▲265	-
特別損失	-	25	▲25	-
税金等調整前四半期純利益	5,995	5,974	＋21	＋0.4
法人税等合計	1,885	1,856	＋29	＋1.6
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,109	4,118	▲9	▲0.2

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

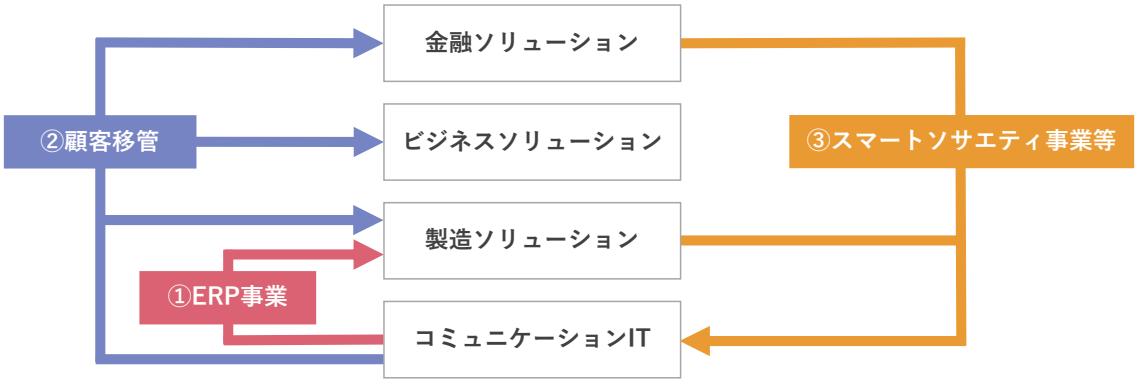
営業利益から下の項目です。

営業外損益の改善により、経常利益も増益となりました。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は投資有価証券の売却益がありましたが、今期は特に計上がありませんでしたので、減益となりました。

報告セグメントにおける対象ビジネスの変更について

- 当期より、報告セグメントにおける計上対象ビジネスを下記のとおり変更
  ① コミュニケーションITのERP事業を製造ソリューションへ移管
  ② 複数セグメントに跨がっていた一部の大口顧客向けビジネスを、主管するセグメントへ集約
  ③ スマートソサエティ事業とセキュリティなど一部のソリューションビジネスを、コミュニケーションITに集約



電通総研

© DENTSU SOKEN INC. | 8

セグメントの状況に入る前に、あらためて、セグメントの変更について説明いたします。

今年からの変更は主に次の3点です。

1点目は、コミュニケーションITにあった「ERP事業」を製造ソリューションへ移管しました。競争力のあるPLMとERPの事業連携を強化することで、製造業のバリューチェーンに対するソリューション提供力のさらなる差別化を図ります。

2点目は、これまで複数のセグメントに跨っていた一部の大口顧客向けビジネスを、主管するセグメントへ集約しました。営業窓口を一本化することで、顧客との関係性を深め、取引領域の拡大を目指します。

3点目は、スマートシティや行政DXといった、社会基盤に関わるスマートソサエティ事業とセキュリティ関連ビジネスを、コミュニケーションITへ集約しました。スマートソサエティ事業では地方のビジネスが重要になってきます。電通グループとの連携を生かし、社会・企業変革事業のさらなる拡大を狙います。

報告セグメント別売上高および営業利益

（単位：百万円）

		2025年12月期 第1四半期累計	前年同期比		
			増減	増減率(%)	概況
金融ソリューション	売上高	8,305	▲106	▲1.3	日銀決済管理システム「Stream-R」の販売・導入案件が銀行業向けに増加したものの、会計領域のソフトウェア商品の導入案件が減少し、減収減益
	営業利益	1,105	▲40	▲3.5	
	%	13.3	▲0.3p	-	
ビジネスソリューション	売上高	5,706	＋19	＋0.3	「STRAVIS*1」の導入案件が商社を中心に拡大したものの、「POSITIVE*1」および「Ci*X*1」の販売・導入案件が低調に推移し、売上高は前年同期並み。利益は、人員増に伴う人件費の増加を主因に減益
	営業利益	990	▲209	▲17.4	
	%	17.4	▲3.7p	-	
製造ソリューション	売上高	16,159	＋1,161	＋7.7	SDV*2開発やマーケティングを支援するコンサルティング、ならびにCAEの各種ソフトウェアやPLMソリューション「Teamcenter」の販売等が輸送機器業向けを中心に拡大し、増収増益
	営業利益	2,571	＋23	＋0.9	
	%	15.9	▲1.1p	-	
コミュニケーションIT	売上高	10,073	＋2,071	＋25.9	公共向けビジネスが拡大したことに加え、前第3四半期連結会計期間から連結対象となったミツエーリンクスの貢献があったことにより、増収増益
	営業利益	1,112	＋249	＋28.9	
	%	11.0	＋0.2p	-	

＊1 STRAVIS：連結会計ソリューション、Ci*X：会計ソリューション、POSITIVE：統合人事ソリューション
＊2 SDV：Software Defined Vehicleの略。ソフトウェアによって機能が定義・制御された自動車のこと

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

セグメントの状況です。

金融ソリューションは、減収減益となりました。自社製品である日銀決済管理システム「Stream-R」が銀行業向けに拡大しましたが、会計領域のビジネスに反動減がありました。

ビジネスソリューションは、売上高は前年並み、利益は減益となりました。連結会計の「STRAVIS」が商社向けを中心に拡大しました。人事の「POSITIVE」と一般会計の「Ci*X」について、受注は回復して来ましたが、売上への転換にはまだ少し時間がかかっている状況です。利益については、ソリューション提供力強化のため、人員を積極的に増やしている一方で、売上が前年並みに留まった結果、減益となりました。

製造ソリューションは、増収増益となりました。SDV（Software Defined Vehicle）と呼ばれる、ソフトで制御する自動車の開発を支援するコンサルティングや、マーケティングを支援するコンサルティングが好調でした。他にも、CAEやPLMのソフトが順調に推移しています。一方で、売上の伸びに比べて利益の伸びが留まり、利益率が低下しています。収益性の高いソフトウェア商品のアドオン開発に反動減があったことが影響しています。

コミュニケーションITは、公共向けビジネスの拡大と、昨年M&Aしたミツエーリンクスの貢献により、増収増益となりました。利益率も向上しています。

サービス品目別および電通グループ向け売上高

（単位：百万円）

サービス品目	2025年12月期 第1四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	3,267	＋596	＋22.3
受託システム開発	8,297	＋766	＋10.2
ソフトウェア製品	7,644	＋148	＋2.0
ソフトウェア商品	13,618	＋329	＋2.5
アウトソーシング・運用保守サービス	5,026	＋948	＋23.2
情報機器販売・その他	2,390	＋359	＋17.7

相手先	2025年12月期 第1四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
株式会社電通グループ及びそのグループ会社	5,091	▲264	▲4.9

電通総研

© DENTSU SOKEN INC. | 10

サービス品目別の状況と、電通グループ向けの売上高です。

すべてのサービス品目で増収となりました。
なかでもコンサル、受託システム開発、アウトソーシング、情報機器については、それぞれ10%を超える増収となりました。

一方で、ソフトウェア製品とソフトウェア商品は、高い目標に対して弱い伸びとなりました。ソフトウェア製品は、受注が回復してきましたので、ここから伸びていくことを期待しています。ソフトウェア商品は、OracleとSAPで反動減があったことが主因です。PLMの領域は堅調ですので、さらに積み上げていきたいと考えています。

電通グループ向けについて、数値は減少していますが、その要因は、電通グループ経由の請求から、顧客に直接請求する案件が増えたことによるものです。コミュニケーションITが好調に推移していることからもご理解いただける通り、電通向けのビジネスも、電通との協業ビジネスも、それぞれ堅調に推移しています。

業種別売上高

（単位：百万円）

業種		2025年12月期 第1四半期累計		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	増減	増減率(%)
	銀行	5,995	14.9	＋292	＋5.1
	その他金融	2,294	5.7	＋440	＋23.7
金融		8,289	20.6	＋731	＋9.7
	輸送機器	8,281	20.6	＋1,716	＋26.1
	電気・精密機器	4,172	10.4	▲32	▲0.8
	機械	2,664	6.6	▲173	▲6.1
	その他製造	2,608	6.5	▲108	▲4.0
製造		17,726	44.1	＋1,402	＋8.6
サービス・公共		10,660	26.4	＋423	＋4.1
流通・その他		3,567	8.9	＋588	＋19.7

＊一部顧客の業種を見直したため、前年同期比較については組み替え後の数値を適用しています

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

業種別の売上高は、ご覧のとおりです。

もっとも伸びたのが、自動車を中心とする輸送機器業で、プラス26%の増収です。関税問題の影響が懸念される業種ですが、第１四半期は絶好調でした。また、関税問題についても、どう決着するかまだまだ不透明ということもありますが、今後予想される課題に対して、それらに対応するためのDX投資という話も出始めている状況です。チャンスとして捉えたいと考えています。

電機精密、機械、その他製造業の減収については、前年同期に売上貢献したSAP案件や、POSITIVE案件等のお客さま向けが一段落したことによるものです。

受注高・受注残高

（単位：百万円）

		受注高		受注残高	
		2025年12月期 第1四半期累計（1-3月）	前年同期比増減率(%)	2025年12月期 第1四半期末（3月末）	前年同期比増減率(%)
合計		48,518	＋5.8	68,132	＋8.8
報告セグメント別内訳	金融ソリューション	9,802	＋2.2	10,115	＋9.2
	ビジネスソリューション	7,600	＋26.1	9,071	＋8.9
	製造ソリューション	16,964	▲5.4	29,440	＋1.7
	コミュニケーションIT	14,150	＋15.1	19,505	＋21.2
サービス品目別内訳	コンサルティングサービス	2,653	＋4.8	1,627	＋32.8
	受託システム開発	9,697	＋10.3	7,086	＋10.8
	ソフトウェア製品	10,170	＋33.0	11,696	＋7.1
	ソフトウェア商品	15,997	▲7.9	32,520	＋4.4
	アウトソーシング・運用保守	7,948	＋12.7	9,416	＋33.4
	情報機器販売・その他	2,051	▲16.6	5,786	▲1.6

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

受注高と受注残高です。

左側の赤枠が第1四半期の受注高、右側が第1四半期末の受注残高です。

一番上、合計の欄に記載のとおり、受注高は前年同期比5.8％の増加、受注残高は8.8%の増加となりました。

受注は、ビジネスソリューションとコミュニケーションITが大幅に増加しました。ビジネスソリューションは、会計・人事領域ともに拡大、コミュニケーションITも、電通グループ向けと協業の両方が増加しています。

製造ソリューションはマイナスです。ここ数年高い成長を続けてきていましたが、今期は前年同期と比べ、サブスク型の複数年契約が少なかったことが影響しています。実態としては、それほど悪い印象は持っておりません。自動車を中心に、IT投資に積極的な姿勢のお客さまがまだたくさんいらっしゃる印象です。



次に、今後の見通しについてです。

2025年12月期 業績予想

- 2月12日に発表した予想から変更はありません。

（単位：百万円）

	通期	前期比			上期	前年同期比		
		前期	増減	増減率(%)		前年同期	増減	増減率(%)
売上高	170,000	152,642	＋17,358	＋11.4	83,000	74,235	＋8,765	＋11.8
営業利益	23,000	21,039	＋1,961	＋9.3	11,500	10,360	＋1,140	＋11.0
営業利益率(%)	13.5	13.8	▲0.3p	-	13.9	14.0	▲0.1p	-
経常利益	23,000	21,093	＋1,907	＋9.0	11,500	10,262	＋1,238	＋12.1
親会社株主に帰属する当期純利益	16,000	15,117	＋883	＋5.8	8,000	7,248	＋752	＋10.4
人員計画(期末就業人員数)	4,800名	4,413名	＋387名	＋8.8				

電通総研

© DENTSU SOKEN INC. | 14

第1四半期の進捗が、前年同期に比べ弱い状況ですが、上期および通期の予想は据え置きます。

今年スタートした中計の大型施策として、今期から営業と技術の組織に大幅な変更を実施しています。明確な効果が現れるのはまだ少し先になりそうですが、足下で、お客さまとの向き合い方に確実に変化が出ています。組織や事業の壁を取り払って、これまで以上に案件を開拓していくことを狙っていますので、引き続き、受注の拡大に取り組んでいきます。

技術側も、事業部縦割りがなくなり、アジリティが高まっています。ここ数年の採用で、技術者の人員数が大幅に増え、ソリューションの提供力が上がっています。一時期は人員不足のため案件をお断りせざるを得ないことがありましたが、今は解消しています。

ここからさらに積み上げ、上期および通期の予想達成を目指してまいります。

2025年12月期 報告セグメント別売上高予想

（単位：百万円）

報告セグメント	2025年12月期 通期	前期比			2025年12月期 上期	前年同期比		
		前期	増減	増減率(%)		前年同期	増減	増減率(%)
金融ソリューション	37,000	34,050	＋2,950	＋8.7	18,000	17,177	＋823	＋4.8
ビジネスソリューション	27,000	23,626	＋3,374	＋14.3	13,000	11,863	＋1,137	＋9.6
製造ソリューション	67,000	60,564	＋6,436	＋10.6	33,000	29,324	＋3,676	＋12.5
コミュニケーションIT	39,000	34,401	＋4,599	＋13.4	19,000	15,870	＋3,130	＋19.7

© DENTSU SOKEN INC.

セグメント別の予想についても、変更はありません。

2025年12月期 サービス品目別売上高予想

（単位：百万円）

サービス品目	2025年12月期 通期	前期比			2025年12月期 上期	前年同期比		
		前期	増減	増減率(%)		前年同期	増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	12,000	10,480	＋1,520	＋14.5	5,800	4,763	＋1,037	＋21.8
受託システム開発	34,000	31,013	＋2,987	＋9.6	16,500	15,027	＋1,473	＋9.8
ソフトウェア製品	34,000	30,095	＋3,905	＋13.0	16,500	15,136	＋1,364	＋9.0
ソフトウェア商品	60,000	54,372	＋5,628	＋10.4	29,500	26,886	＋2,614	＋9.7
アウトソーシング・運用保守サービス	21,000	18,498	＋2,502	＋13.5	10,300	8,404	＋1,896	＋22.6
情報機器販売・その他	9,000	8,182	＋818	＋10.0	4,400	4,017	＋383	＋9.5

電通総研

© DENTSU SOKEN INC.

サービス品目別の予想についても、変更はありません。

目次
INDEX

01 2025年12月期 第1四半期決算概況

02 2025年12月期 業績予想

Appendix

17

最後にAppendixとして、3つ資料をつけています。

1つが、今日別途開示した、受注高と受注残高の過年度修正情報です。

2つ目が、セグメント組み替えに関する数値情報です。PLと受注両方の組み替え数値を記載しています。なお受注については、過年度修正した数値を、さらにあたらしいセグメントの構造で組み替えたものを記載しています。

最後が、直近3か月のプレスリリースです。
ご参照ください。

以上で私からの説明を終わらせていただきます。

受注高、受注残高の過年度修正 ①修正概要

- 2023年12月期第3四半期から2024年12月期の決算において、受注高および受注残高の数値に誤りがありました。修正概要は以下のとおりです。

＊修正対象の数字に下線を付しています

（単位：百万円）

		2023年12月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
訂正前	受注高	44,783	35,558	32,617	32,485	145,445
	受注残高	61,652	62,141	59,341	54,486	54,486
訂正後	受注高	44,783	35,558	32,111	32,406	144,858
	受注残高	61,652	62,141	58,834	53,899	53,899
差異	受注高	-	-	▲506	▲79	▲586
	受注残高	-	-	▲506	▲586	▲586

		2024年12月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
訂正前	受注高	45,996	41,355	35,175	36,612	159,139
	受注残高	63,382	68,303	64,781	60,982	60,982
訂正後	受注高	45,842	41,206	35,139	36,414	158,602
	受注残高	62,642	67,413	63,856	59,859	59,859
差異	受注高	▲153	▲149	▲35	▲197	▲536
	受注残高	▲740	▲889	▲925	▲1,122	▲1,122

© DENTSU SOKEN INC.

受注高、受注残高の過年度修正 ②2023年12月期の修正後数値

- 2023年12月期の修正後数値は以下のとおりです。

※修正対象の数字に下線を付しています　　（単位：百万円）

		2023年12月期								
		受注高					受注残高			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
合計		44,783	35,558	32,111	32,406	144,858	61,652	62,141	58,834	53,899
報告セグメント別	金融ソリューション	6,863	8,387	7,952	7,387	30,591	7,330	8,312	8,403	7,775
	ビジネスソリューション	5,706	5,870	3,974	5,201	20,752	10,264	10,156	8,317	7,877
	製造ソリューション	14,799	10,809	11,199	9,321	46,130	22,746	23,915	25,091	23,114
	コミュニケーションIT	17,413	10,491	8,984	10,496	47,385	21,311	19,757	17,022	15,132
サービス品目別	コンサルティングサービス	2,199	2,459	1,820	2,510	8,990	993	1,645	1,440	1,364
	受託システム開発	7,954	7,058	7,007	7,069	29,090	6,959	6,232	5,718	5,135
	ソフトウェア製品	7,727	8,033	5,091	7,458	28,310	13,224	13,404	10,957	10,771
	ソフトウェア商品	16,396	12,674	13,956	10,097	53,125	27,167	28,161	29,825	27,089
	アウトソーシング・運用保守サービス	7,511	3,833	2,524	3,814	17,683	6,908	6,638	4,939	4,086
	情報機器販売・その他	2,993	1,499	1,711	1,455	7,659	6,397	6,058	5,952	5,451

© DENTSU SOKEN INC.

受注高、受注残高の過年度修正 ③2024年12月期の修正後数値

- 2024年12月期の修正後数値は以下のとおりです。

※修正対象の数字に下線を付しています　　（単位：百万円）

		2024年12月期								
		受注高					受注残高			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
合計		45,842	41,206	35,139	36,414	158,602	62,642	67,413	63,856	59,859
報告セグメント別	金融ソリューション	8,822	8,093	6,880	8,239	32,036	8,711	8,581	7,550	7,901
	ビジネスソリューション	5,892	6,281	5,211	4,874	22,259	8,162	8,332	8,124	6,812
	製造ソリューション	15,453	12,144	12,136	10,371	50,105	26,855	28,017	28,312	25,866
	コミュニケーションIT	15,674	14,687	10,910	12,927	54,200	18,913	22,481	19,869	19,279
サービス品目別	コンサルティングサービス	2,532	2,956	3,082	2,786	11,356	1,225	2,197	2,462	2,241
	受託システム開発	8,790	7,404	7,089	8,280	31,564	6,394	6,896	5,803	5,686
	ソフトウェア製品	7,644	8,399	5,779	6,670	28,493	10,919	11,678	10,499	9,170
	ソフトウェア商品	17,363	16,780	12,878	10,403	57,425	31,163	34,347	33,545	30,142
	アウトソーシング・運用保守サービス	7,053	3,726	4,873	5,251	20,905	7,061	6,462	6,338	6,493
	情報機器販売・その他	2,458	1,938	1,436	3,022	8,856	5,878	5,831	5,206	6,125

© DENTSU SOKEN INC.

報告セグメント数値の組替 ①売上高および営業利益

- 2024年12月期の実績について、セグメント変更後の区分に組み替えた数値は以下のとおりです。

（単位：百万円）

		2024年12月期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
金融ソリューション	売上高	8,411	8,766	8,414	8,458	34,050
	営業利益	1,145	1,053	1,044	1,104	4,348
	%	13.6	12.0	12.4	13.1	12.8
ビジネスソリューション	売上高	5,687	6,175	5,507	6,255	23,626
	営業利益	1,199	1,501	970	1,647	5,319
	%	21.1	24.3	17.6	26.3	22.5
製造ソリューション	売上高	14,998	14,326	15,254	15,985	60,564
	営業利益	2,548	1,610	1,780	2,635	8,574
	%	17.0	11.2	11.7	16.5	14.2
コミュニケーションIT	売上高	8,002	7,867	8,820	9,711	34,401
	営業利益	863	438	307	1,188	2,797
	%	10.8	5.6	3.5	12.2	8.1

© DENTSU SOKEN INC.

報告セグメント数値の組替 ②受注高および受注残高

- 2024年12月期の修正後実績について、セグメント変更後の区分に組み替えた数値は以下のとおりです。

（単位：百万円）

		2024年12月期								
		受注高					受注残高			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
合計		45,842	41,206	35,139	36,414	158,602	62,642	67,413	63,856	59,859
報告セグメント別	金融ソリューション	9,595	8,999	7,119	8,871	34,587	9,266	9,499	8,204	8,617
	ビジネスソリューション	6,028	6,314	5,335	5,132	22,811	8,333	8,472	8,301	7,178
	製造ソリューション	17,928	15,829	15,928	13,488	63,174	28,954	30,458	31,133	28,635
	コミュニケーションIT	12,289	10,062	6,755	8,921	38,029	16,087	18,983	16,217	15,427

© DENTSU SOKEN INC.

主要プレスリリース(2025年2月-2025年4月) 1/2

2025/04/30	FINOLABと「日本金融イノベーション年鑑2025」を発刊
2025/04/30	モンスターラボと連携し、レガシーシステムの刷新を支援する「AIモダナイゼーションサービス for iPLAss（アイプラス）」を提供開始
2025/04/24	複数のAIエージェントアプリケーションを利用できるプラットフォーム「Know Narrator AgentSourcing（ノウ ナレーター エージェントソーシング）」を提供開始
2025/04/24	企業のサイバーレジリエンス強化を支援するグループ横断チーム「DSST」を発足
2025/04/23	グループ経費精算システム「Ci*X Expense（サイクロス エクスペンス）」を豊田合成が採用
2025/04/16	企業の技術価値を事業創出につなげ、マーケティングまで一気通貫で支援する「R&D For Growth」を提供開始
2025/04/14	国際的な標準技術仕様に準拠したデジタル証明書（VC：Verifiable Credentials）を発行・管理・検証するソリューションの提供へ
2025/04/02	日本ファクトチェックセンターと「電通総研コンパス vol.15 情報インテグリティ調査」結果を発表
2025/04/01	地方の「産官学金労言」が主体となる地域循環型モデルの推進へ、パートナーシップ協定を締結
2025/03/26	エクスモーションと製造業のエンジニアが次世代の製品開発スキルを学習できるオンラインプラットフォーム「Eureka Box（ユーリカボックス）」エンタープライズ版を提供開始へ
2025/03/25	戦略的IR支援プログラム「IR For Growth」を提供開始

© DENTSU SOKEN INC.

主要プレスリリース(2025年2月-2025年4月) 2/2

2025/03/24	子会社2社を「電通総研テクノロジー」として統合し、システムインテグレーション事業と経営基盤を強化へ
2025/03/24	「電通総研コンパス vol.14　居場所に関する意識調査」結果を発表
2025/03/19	「電通総研 経済安全保障研究センター」を新設
2025/02/28	三井住友海上が「PayPay給与受取」に対応
2025/02/19	2035年のトレンドを予測し、未来起点の経営戦略に生かす「電通未来曼荼羅2025」発表

© DENTSU SOKEN INC.

電通総研

本資料に関するお問合せ

株式会社電通総研
エグゼクティブオフィス
IR担当

https://www.dentsusoken.com/ir
g-ir@group.dentsusoken.com
03-6713-6160